



第13回 稲門建築会特別功労賞 米山勇氏 (苗 S63) 江戸東京博物館助教授

表彰理由：

米山勇氏は、本学の建築史研究室にて卒業論文及び修士論文を提出し、以来、日本近代建築史の研究者として、第一線で活躍している。2005年には、研究成果を博士学位論文「佐藤功一の『建築一都市』観とその影響に関する史的的研究」としてまとめた。同氏は現在、江戸東京博物館に勤務し、日本で数少ない建築学専攻の博物館職員として調査研究や企画展示に精力的に活動する一方、多数の著作、講演、テレビ出演などを通じて、建築の楽しさを広く一般の人々に啓蒙してきた。建築外の多様な分野の専門家との交流も活発で、建築の領域拡大に大いに貢献する逸材である。ユニークな視点と多方面へのメッセージ伝達力などが高く評価される俊才であり、社会的な認知度も高い。今後のさらなる活躍が期待されると同時に、稲門建築会の活動の幅を広めることに大きく寄与する人材として、「稲門建築会特別功労賞(奨励)」に推薦する。(推薦者 中川 武)

略歴

1990 早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了
1993 早稲田大学大学院博士後期課程単位取得退学
日本学術振興会特別研究員、
早稲田大学非常勤講師、
日本女子大学非常勤講師などを経て
現在 江戸東京博物館助教授
2005 博士(工学)

■著書 : 『日本近代建築大全(全2巻)』(監修)／講談社 2010年刊行予定 ほか
■雑誌掲載論文・評論 : 「継承される『折衷』精神の諸相」
『新建築』2000年3月臨時増刊「安井建築設計事務所ー世紀をつなぐ」／新建築社 ほか
■展覧会企画 : 特別展「日本の建物(全4部)」／江戸東京たてもの園 2008年3月～2009年3月 ほか
■テレビ・ラジオ出演 : NHK総合テレビ『美の壺』2010年2月5日0.A.
NHKラジオ第一放送『土曜あさいちばん』～「旅ガイド」毎月第4、第5土曜日(放送中)
他、学会・博物館・自治体・カルチャーセンター等主催のシンポジウム、講演、ギャラリートークなど多数



TOKYO ELEVEN PARADISE 「東京一建築・都市伝説」 TOTO出版



東京建築展関連イベント 建築体操



建物のカケラ展 展示風景

